



★このニュースレターは皆さまに事務所のことをもっと身近に感じていただきたいと願い発行しています。

せのじむ法務ページ

平成30年8月号
Vol.124

★鍋の黒コゲを落とすコツは、鍋にたっぷりの水を入れ酢を大さじ2～3杯入れて煮立てること

★このたびの豪雨災害で被災された皆さまへ謹んでお見舞い申し上げます。
一日も早い復旧を心より願っております。

今月の読みどころ

人事労務トピックス★「平成30年7月豪雨について厚労省からの発表」
今月のおススメ書籍★「幸福度を高めると業績が向上する」
中小企業の人材採用★「募集採用をする前にやっておくべきこと」

徒然なるままに Vol.86

「仕事の本質を見る視点」

小学生ぐらいのときのあだ名が「サル」だった社会保険労務士の妹尾です。名前が悟(さとる)なので、そこから「と」ととって「サル」になったと記憶しています。

当時はとても嫌な気分だったのですが、今でも呼ばれるとあまり嬉しくないですね。お肉がサル(去る)のは大歓迎なのですが。(笑)

あだ名といえば、「代表的日本人」(内村鑑三著)という本で、二宮尊徳(金次郎)のことを紹介していますが、その中に「根堀り老人」とあだ名される人物が登場します。

「働き手のなかに、一人前の仕事がほとんどこなせない老人がひとりいました。いつ見ても根堀りばかりしています。骨の折れる地味な仕事ですが、ほかの人がひと休みしているときでも、その手を止めることはありません。自ら選んだ仕事に満足げな様子です。村人たちはこの老人を『根堀り』と呼び、ほとんど見向きもしませんでした。」(同書より抜粋)

ある支払いの日、いつものように各自の手柄や分担に応じて賃金が支払われたとき、いちばん高い評価と賃金を受け取ったのが、その根堀り老人でした。しかも、いつもの賃金と別にボーナスも支給されたのです。

一人前の仕事をこなせず根堀りばかりしている老人に、いちばん高い評価と賃金、これには周囲以上に本人がいちばん驚いて、その理由を尊徳に尋ねました。

尊徳はこう言いました。

「あなたはだれもやりたがらない仕事をしてくれています。人目を気にせず、この村のために心から役立とうとしているではありませんか。根を取り除いてくれるおかげで、障害物がなくなり、ほかの作業がとてもはかどっています。あたなのような人に報いなくて、この先どうやってこうした作業が続けられましょう。」(同書より抜粋)

尊徳は仕事の本質を見抜いていた人だと思えます。

この老人と比較して、同書の前段に役人が見ている前だけ人の3倍働く男が登場します。尊徳はその男の企みを見抜きます。

仕事は自分のためだけでなく、周囲に貢献してこそ仕事であるという仕事の本質の現れが「根堀り老人」の評価につながったのではないかと思います。

尊徳は幼い頃、村で起こった大洪水のため、復旧工事に参加していますが、まだ幼い彼は普通の大人の半分の働きもできません。皆の役に立ちたいと、彼は夜なべして草鞋(わらじ)を編み、工事をしている大人たちに手渡します。

身体は小さくても、自分ができることによって役に立ちたいという尊徳の謙譲心を感じます。

このような尊徳の思いも先の「根堀り老人」の評価につながっているのではないのでしょうか。

私たちはつい目に見えるもの(先の役人の前だけ3倍働く男)を評価しがちですが、目に見えないもの(根堀り老人)を評価する目や想像力を忘れてはいけません。

このことは先日、成立した「働き方改革関連法」にも通じることであると思います。

何かと「効率化」がテーマになっていますが、「仕事の本質は何か」を忘れてはいけません。

(文/妹尾 悟)





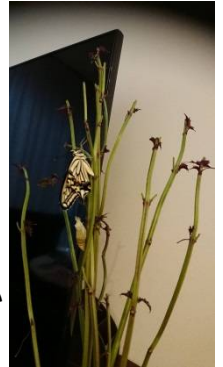
今月の事務所スタッフのつぶやき

●蝶の蛹(さなぎ)



こんにちは、スタッフの片山です。
このたびの豪雨の影響により被災されたみなさまに、謹んでお見舞い申し上げます。
一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。
道路が土砂崩れにより、全面通行止めのところが多いですね。井原でも、徐々に復旧はしていますが、まだまだこれからという様子です。
なかなか難しいとは思いますが、自分にできることをしていきたいです。

先日、蝶の蛹(サナギ)をもらいました。
蛹を研究したことはないのですが、何が出てくるかわからず、蝶ではなく蛾だったらと少し心配をしていました。
何日かして、だんだんと色が変わり、気が付いたらそこにいました(-_-)
でも羽が固くなるまでジッとしてくれていたので、部屋の中を飛び回っておらず安心しました。
生まれる瞬間を見ることができず、残念ですが、とてもきれいな羽で感動を覚えました。
初めてする、初めて見ることは、こういうことかと改めて考えることができました。
初心に戻り、これからもがんばろうと思いました。
(片山小百合)



●開脚マイライフ



こんにちは、スタッフの妹尾です。
このたびの豪雨災害により被災された皆さまへ謹んでお見舞い申し上げます。

最近ハマっているものに「開脚」があります。本屋さんで偶然手に取った開脚の本がきっかけです。
開脚ができるようになると、身体が柔らかくなり、冷えが解消され、骨盤のゆがみが矯正され〇脚が治ると言われています。

することは難しくなく、毎日、開脚するだけなので私でもできるのではないかと思ったのと前々から開脚に興味があったので始めてみました。
始めてから1か月ちょっと。痛気持ちよさを感じながら、毎日、楽しく続けていると、最初は、前屈をしても手が地面につかなかったのが、開脚後はつくようになりました。少しずつ柔らかくなっているのがわかり、やればできることを実感しています。
目標は、開脚して頬杖をつくことです。これからも続けていきたいと思っています。
簡単にできて、身体にもよく、ケガの防止にもなりますし、何より小さな達成感を味わえるので皆さんにもお勧めしたいです。
(妹尾由美)

●ダッチオーブン



こんにちは、代表の妹尾です。
最近ハマっているものにダッチオーブン料理があります。以前から趣味の一つでご紹介していますが、ダッチオーブン用のガスバーナーを使ってから、あらためてその奥深さにはまっています。
ガスバーナーを使うと火加減の調節が容易になるため、レパートリーが広がりました。とくにご飯ものが上手にできるようになり、炊き込みご飯は得意中の得意です。
お米がふっくらして、ちょうどいい塩梅(あんばい)におコゲができて最高ですよ。

誌面では、この味をお伝えできないのが残念です。なので、写真を添えておきますので、想像して味わってくださいね。(笑) (妹尾悟)



●と言いつつも、残念ながらご飯の写真がなかったのでから揚げでご容赦ください。<m()m>